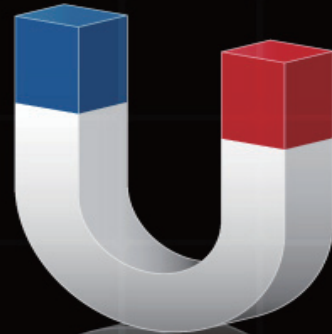


Composite Material,
In the World

ONLY

1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジム系等方性コンパウンド
- ・ネオジム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM 素心は「基礎科学の視点から見たフェライト磁石の未来」と題して京都大学大学院教授の中村裕之先生にご執筆頂いた。先生には5月に行われた技術例会でLa-Co置換M型フェライトについてご講演頂いたが、その研究を始めるに至った詳しい状況が記されており大変興味深く読ませて頂いた。既にすべて調べ尽されていたかに思われるこの材料は、本当はまだまだ分からないことが沢山あり、特性の伸び代が残っているとのことであり、成果に期待したい。

BM レポートは「高耐熱性磁石の開発、その理論解析並びに応用技術の動向」と題して5月に行われた技術例会の講師の皆さんのご了解を得て再掲載させて頂いた。耐熱性が要求される用途が増加しておりそのための新しい磁石の開発が進められていることが分かる。また毛色が変わった講演としては、特許申請に当たり注意すべき点を詳しくご紹介頂いた。最近の新聞で、中国の特許出願件数が約134万件と米国の2倍、日本の4倍以上になっており、ものまね大国から知的財産権の強国に向け急速に移行中との記事が目についた。それぞれ大変重要な講演であり皆さんに役に立つものと信じている。

BM コラムには「日本で開発製品が事業化できない理由」と題して原田 CEO にご寄稿ご寄稿頂いた。ご自身の実体験と照らし合わせて詳しくその要因分析が行われている。私自身も企業に籍を置き、事業化するに当たり色々悩んだ経験があり、また他の企業人との話の中で正に同じ思いを感じている人が沢山いることを目の当たりにしている。基本的にはトップの判断によるものであるが、事業化のためにはどうすべきなのか参考にして頂きたい内容である。

機関紙編集委員長

大森 賢次